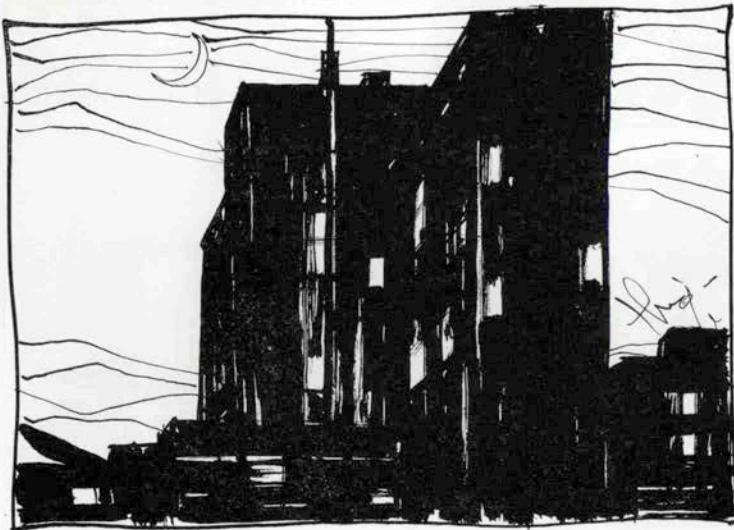


曲線ハイウェイ

武田繁太郎
え・横塚繁



あらすじ ★東名高速・浜名湖サービスエリアで、多木洋介は若い神戸の女性宇津康子と知り合い、幾度か逢瀬を重ねた。康子の魅力にひかれた多木は、正体を知るため、神戸出身の友人岡本和彦と共に東名神を通り、神戸へ来た。康子を見出せぬ多木は、彼女の面影に似た辰馬英子を紹介され、六甲山をドライブに出かけた。ロマンティックな情熱に誘われて、英子を抱きしめた多木の胸に、始めて感じるいとおしさがつのつた。その夜須磨のホテルで二人は愛をたしかめあつた。そしてさりげなく二人は別れた。

そしてある日、東京へ来たばかりの康子から電話があり、その夜二人はあるレストランで会つた。多木から英子のことを聞かされた康子は、全く割り切つていだ。そして二人はTホテルに足を運び、一夜をすごすこととなつた。

流れしていく時間のなかで、多木は、すぎさつた時間もこれからおとずれてくるであろう時間も、ほとんどその価値を認めなかつた。過去も、未来も、彼には、無用の時間であつた。

いま自分が生きている瞬々を多木は愛した。その一瞬は、流れ去つてしまえば、ふたたび手にすることはできない。かけがえのない時間であった。その一瞬の時間だけが多木には信じられるのだった。

彼は、過去をふりかえらない。未来をのぞまない。いつも現在だけに生きていた。

これを、利那主義だと笑うものがあれば、その人間は過去の亡靈にとりつかれ、未来の幻影にまどわされていする。どんな人間だって、彼が生きているといふのは、現

在以外のどんな時間でもない、と多木は、あべこべに笑つてやるのである。

多木が、女を抱くのも、その一瞬の時間をいとおしみたいからだった。いま自分が、まぎれもなく生きているのだという証しを、実感としてたしかめたいからだった。女を愛することは、彼が生きていることであった。それ以外に、

「おれは生きているんだ」

と、実感できるどんな手だてがあつたか。彼にはなかつた。

康子は、息を殺すようにして、じっと瞼をとじたまま待つっていた。

多木は、ゆっくりと、康子のなかにはいつていた。

康子も、全身をひらいて、多木を受け入れていた。

二人の身体は、重なりあつた。あますところなく、重なつていつた。

重なりあう二人の動きには、みじんのぎこちなさも齟齬もなかつた。多木の昂まりは到達すべきところに、確実に触れていた。

だが、多木の昂まりだけが、康子のなかにはいつたのではない。

多木の昂まりが、到達すべきところに触れた一瞬、多木は自分の五体のすべてが、康子のなかに吸いこまれていつたように感じられるのだ。

昂まりの溶けるような欣びが、昂まりを貫き流れて、多木の五体の端々にまでどろいていく。

「あ——」

と、その全身の欣びの声が、多木の口からもれていた歓喜した昂まりは、たちまち、康子のなかで躍動したそれは、全身の躍動だった。生命のもつとも充実した躍動だった。

康子も、反応していた。彼女の内部の襞のあらゆる部分が、微妙に反応していた。鋭敏に反応していた。

二人の動きは、徐々にもりあがり、しだいに鮮烈にな

り、加速度をまして沸騰していく。

一人は、完全に共鳴しあっていた。康子は、夢うつつのように言った。

「こんなに愛しあっているのに、あなたとあたしは、まだ別々の身体なのね——」

「だけど、君の身体はもうぼくのもんぢやないか。ぼくも、君のもんだ——」

多木も、えぎながら言つた。

康子は気せわしく首をふって、うなづいた。だが、うなづきながら、じれったそうに言つた。

「そうよ。そうだわ。でも、もつと、もつと、ああ、ひとつ身体になつてしまつわ」

それは、歎きではなかつた。男と女の愛の極限に達しようとするときの、欣びの声であつた。

康子のその欣びは、そのまま、多木自身の欣びであつた。たがいに相手を愛することによつて、その愛がもたらしてくれる欣びを、たがいにわかちあつてゐる。そのことを、たがいに生身の肌が確認しあつてゐた。

その欣びは、人間が生きているということの欣びであった。そこでは、男と女のふたつの肉体からほとばしる生命が、ぶつかりあい、もつれあい、からまりあつて、やがて、ふたつの生命は、ひとつの流動体となつて融合していく。

人間の営みのなかで、これほど生命の躍動する営みはなかつた。これほど人間を情熱的にする営みはなかつたそれは、生命的根源の営みであつた。

ふたつの肉体は高潮の極にのぼりつめていた。欣びは、二人の内部で高まり、ひろがり、きらめき、それは、瞬時にもれる叫びとともに、二人は、同時にふたつの生命を燃焼しあつてゐた。

多木が、生きていることのかぎりない満足をおぼえるのは、その一瞬であった。

二人は、欣びがしづかにうしおがひいていくように遠

さかっていくまで、じっと重なったまま動かなかつた。欣びの余韻を、たのしみあつていた。

多木の全身に、こころよい疲労がひろがつていくと、彼は、一種の安堵にも似た充足感をおぼえる。それは、なにか母なる大地に、身も心もあづけきつたような、心のやすらぎだつた。

康子もまた、多木を抱きしめたまま、まだ夢見るような感覚の波のなかに放心しているようだつた。多木は、康子のなかで萎縮するまで、彼女を離さなかつたが、やがて、名残りをおしむように、ゆっくりと康

子からおりて、彼女と枕をならべた。

「どうして、こんなにしてきなの？」

康子は、うつとりと目をとじたまま、つぶやくように

言つた。

「あたしね、あなたに愛されていると、いつも、どうしてこんなにしてきなのかしら、と思うのよ。このまま、いつまでも愛されていていい。女って貪欲なのかしら？」

おわつたあとのことと思うと、とってもさびしくなるのあなたにこのつきに愛されるまで、ああ、もうこの欣びは味わえない——」

ふつと目をひらくと、康子は羞じらいをふくんだ微笑で、多木の頭のあたりにかるく口づけした。

「そりや、女が欲ばりだからじゃないさ。そう思うからこそ、また、愛したいとなるんじやないか」

「でもね、あなたと別れていたあいだ、あなたに逢いたくなつて、あなたにこうして愛されていたときのことを思いだそうとしてみるの。ところが、どうしても思いだせないので。あのときは、あんなにすばらしいと感じたはずなのに、それが、思いだせない。なんだかまぼろしみたい。うそだつたみたい」

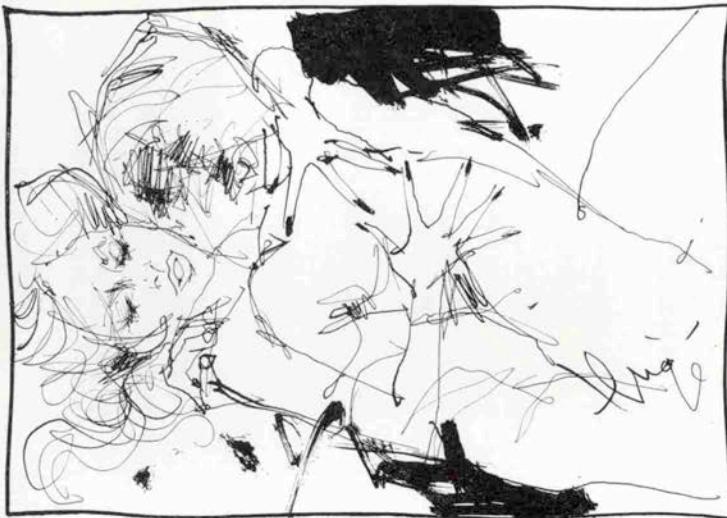
多木は、黙つてきていた。思いつめた女の愛の告白をきかされているような感じであつた。

「いま、こうしてあなたに愛されてみると、はつきりと思ひだすのよ。ああ、この欣びだつたと。でも、あなたと別れると、この欣びも、また、まぼろしみたいに消えていくのね。愛されるつて、そんなにはかないものなのかしら？」

「いや。そうじゃないさ。ほくはそうは思わないな」

多木は、康子の身体をひきよせ、康子のあたまを腕のなかに巻きこむように抱いて言つた。

「愛の欣びといふものは、愛しあつているときにだけ、二人のあいだに生きているものだと思うんだ。君がいつも感じているとおりだよ。愛の欣びは、すぎさつた思い出のなかはない。未来にもない。愛しあつているとき



だけだ。いまという時間のなかにしか存在しないと思うんだ」

「こんどは、康子が、多木の胸のなかできいていた。

「しかし、だからといって、ぼくは、愛ははないものだとは思わない。愛の欣びは、いまという時間だけにしか存在しないから、いつそかけがえのない、貴重な欣びなんだ。今日の愛の欣びは、昨日の愛の欣びとはちがう。そのときどきが真実で、そのときどきが新鮮なんだよ。だから、ぼくたちは、すぎさった愛の欣びを忘れて、新しい愛の欣びに浸りたくなる。いつまでも、愛の欣びをもとめていきたくなるんだよ」

「そういうものかも知れないわね」

「そうさ。ぼくたちが愛の欣びをもとめていくことが、ぼくたちが生きていることとのなによりの証しじゃないか

ぼくはね、こうして君を抱きしめて、おたがいに愛の欣びに満足しているときにだけ、ああ、おれは生きてるんだ、という、生きていることの幸福をしみじみ感じるんだ。こんな幸福感を与えてくれるものが、ほかにあるだらうか」

康子は、首をよこにふった。

「そりや、ぼくはまだ若いさ。だけど、若いこのぼくに も、もうこの世のなかで、胸をときめかせてくれるよう なものは、なにもないんだ。右も左も、馬鹿々々しいこ

とばかりじゃないか。明日への生き甲斐もない。ぼくに とって信じられるのは、こうして君と抱きあつて、いまという時間だけだ。君との愛の喜びだけだよ」

「あたしも、そうだわ。あなたのおっしゃること、やつ とわかつたような気がするわ」

「そりや、ありがたい。ねえ。今夜は、こうしてしつか り抱きあつたまま、眠らないか」

「いいわ」

「身体、くるしくはならないかい？」

「平気よ」

「夜明けに、また、君を起すかもしれない」

「いいわ。それまで、二人して、たのしい夢をみましょ うよ」

二人は、横むきになつて、抱きあつたまま、やがて、 こころよい眠りのなかにひきこまれていった。

(つづく)

<神戸の催物 1月ご案内>

<音楽>

★第24回神戸中央合唱団定期演奏会

2日(日) PM2:00—PM4:00 ¥500

★旧三商大交歓演奏会

3日(月) PM6:30—PM9:00 ¥250

★欧阳菲々初リサイタル

8日(土) PM6:30—PM8:30 民音 ¥800

★辻久子特別演奏会

9日(日) PM6:00—PM8:00 民音 ¥950

★エルベ・ビラール & 真帆志ぶき

13日(木) PM7:00—PM9:00 S ¥2,500 A ¥2,200
B ¥1,800 C ¥1,400 D ¥1,000

★本田路津子とシモンズ

15日(土) PM6:30—PM9:00 労音会員券

★H K 交響楽団演奏会

17日(月) PM6:30—PM9:00 労音会員券

★内山田洋とケールファイブ

18日(火) PM6:30—PM8:30 民音 ¥1,000

★ベンチャーズ 27日(木) PM7:00—PM9:00

S ¥2,200 A ¥1,900 B ¥1,500 C ¥1,200 D ¥1,000

★第10回カワイ音楽教室発表会

28日(金) AM10:00—PM6:00 入場無料

★ニューオリンズ・ジャズオールスター

29日(土) PM6:30—PM8:30

民音 ¥900 ルイ・ネルソン(tb) キッド

・シーケr(tp) ウィリアム・バブティス

ト(bj) チェスター・トニーズ(d) ジョ

ーローム・グリーン(b) ジョセフ・ゴール

デン(cl)

★華麗なるスタンリー・ブラックの世界

30日(日) PM7:00—PM9:00

A ¥2,000 B ¥1,600 C ¥1,200

指揮/ピアノ スタンリー・ブラック 演奏 大阪フィルハーモニー交響楽団+ラテンコンボ 曲目/「こうもり」序曲, 「カルメン」組曲, シボネー, アンダルシア, ある愛の詩他

<演劇>

★すわらじ劇团神戸公演

1日(土) ① PM1:30—PM4:00 ② PM6:00—PM8:30
一般¥500 学生¥300

★岡八郎リサイタル

6日(木) PM2:07:07日(金) PM2:00, PM6:00
S ¥1,200 A ¥1,000 B ¥800 第一部: お芝居駆前人情
第二部漫才・歌謡ショウ「ハッちゃんのすべて」

★前進座公演「出雲の阿国」

10~12日(月~水) PM6:15—PM9:00 労音会員券
嵐芳三郎, いまむらいづみ他出演

<舞踊>

★御殿舞の会 16日(日) AM10:00—PM9:00 ¥800

★八回民謡のつどい

20~22日(木~土) AM9:00—PM4:30 ¥300

★'72洋舞合戦公演 23日(日) AM12:00—PM4:00

★中国上海舞劇団 26日(水) バレエ「白毛女」

S ¥4000 A ¥3000 B ¥2000 C ¥1000

★第六回横本幸子バレエ研究所発表会

30日(日) PM1:00—PM4:00 入場無料

<その他>

★第17回茶道裏千家文化講演会

13日(木) PM1:00—PM4:00 整理券

<以上神戸国際会館251~8161>

★毎月楽しい雑誌、ありがとうございます。

★梅雨になり、晴れ時間の少ないこの頃です。お元気でいらしゃるにござ
か。神戸市立子六号ありがとうございました。
いました。
今月のモノクロームの静物画好きでした。“Good Morning”
の本当の神戸の姿、中央市場の動き
その中で働いて下さっている方々のおかげで主婦の仕事も可能になると
思う気持ちで一矢を書いたのであります。
甲に住んでいた頃の牛乳牧場の牛乳
のおいしかったことを思い出していい
ます。今聞んしても、そして命を大事にすることを考え、お互いに生
きるために心を大切にしてゆきたいと思います。
「ペーチンキスの尊さ」を思います。
ありがとうございます。

しかし、神戸にはなじみがうすいものにとっては、あるいは非常に便利なのがガイドである。き、飲みはあるきのためのガイドであることに気がつきました。つまり、目次ページに常に書いてあるように、「くわんに楽しむ」というおくる、神戸を訪れる人にはやさしい道しるべであるのです。これが、私が神戸へ移ってきた当初、「神戸っ子」をみたときの感想であります。

そして、神戸に少しばかりなれてきた今、とにかくて、この神戸、この雑誌によく似ているよう、思われるのです。うよううよう、この雑誌が、正に、この神戸へ発行されているからこそ、このよろくな雑誌になるのか知れません。

★過ぎし日曜と同じように、どこかに
らどこにも晴れた空、白い雲、ミナ
ト神戸にドラゴンホール（D-144）
しの羽田のコノクリルト（D-144）
★王子動物園で。生後二ヶ月の猿の赤
ちゃんが対面。長い毛の中のしわ
しわの顔がとても可笑い。でも目
も大きい。今度行くのがとても樂
しかった。神戸まつり、振りに振りまく
たフィルムがなんとも七十本グラフ誌
にでもまとめてみたい。
★シアター夜行館の居居後の宴会で
冷酒を飲みすぎてテント小屋でねて
しまう。座長が寒風早く目ざめ、一瞬
ギブクリ。皆寒んでる。一瞬で
か、飲んだ位置でそのままみんなな
てしまつたものだから。
(いはずみあきこ)

発行にいろいろお世話いただいた方がた



神戸っ子ごんじゃない

★ 南秋神木文隆小宝甲宝
田戸村進司原
百堂光盛南文
文書書畫文
★月刊神戸つ
のかたは編集
神戸百店会
子編集室内に

元町通 5丁目
国鉄本山駅
阪神住吉駅
新聞地本
垂水銀座
明石市
板宿バス
長田・神戸
アバ
阪急電車
子に広告を掲載
室へお申込み下さ
の事務局は月刊神
社あります。

戸い希2・^ノ停板通迺北南北
つ。望階前戸前町りり口側口目

後編
記集



★舞子に住んでいるとどうも他人より色が黒くなる。七月になると色白の肌がもう真黒で三回も皮がむけ

小小柏嘉嘉金大小小岡岡牛上櫻石井石乾砂青荒朝安
曾上比
林磯井納納井淵野根崎部尾田並野 野豊野木木奈部
文
芳良健毅正元ツ一真 伊吉將正成左信 重 正
都衛
夫平一六治彦ム夫遣忠子朗雄一明門一彦仁雄見隆夫

津玉田田田田淹淹竹角砂塙新白雀坂阪坂古後上小小
高井中中村宮川川中南田路谷川部口本井林藤林林泉
和 健寛孝虎勝清 猛重義秀 昌千 時喜末英秀徳
一援郎次介彦二一郁夫民孝雄眞介堆勝忠良二一雄一

神行山若百村宮宮松福深原畑原野難中中西直外竹
戸青吉口杉崎上地崎井富水 口沢波西脇木島馬
年会議哉泰 辰正襄辰高芳惣泰專忠幸 太健準
所女弘慧雄郎二雄男美吉良郎郎還勝弘親郎吉助

★月刊神戸っ子を毎月お読みになりたい皆さま、また神戸を離れていたりお友達に、神戸の香りをおとどけになりたい方は、編集室にてお申込み下さい。さっそくお送りします。

6ヶ月分 一二〇〇円

1年分 二四〇〇円 (送料共)

★月刊神戸っ子に紹介されている神戸の銘店には、お客様へのサービスとして神戸っ子がおかげであります。月刊神戸っ子をお求めの時には左の本屋さんへどうぞ。

コウベブックス さんちかタウン
ユーニバーサル書房 漢口町筋
東洋書堂 渋川商店
丸前 新聞会館 1階
大丸



★発行 / 47年7月1日
★編集・発行 / 小泉康夫
★発行所・神戸つ子編集室
神戸市葺合区八幡通5ノ96
K・Eビル4階
電話 070-3780072
領価 200円

★月刊神戸っ子N.O.のなかは編集室へお申込み下さい。
★神戸百店会の事務局は月刊神戸っ子編集室内にあります。

神戸のうまいもんとドリンク

★日本料理

阿なご寿司 青

辰
神戸市生田区元町通3-184
TEL 331-3435

讃岐名代うどん

あこや亭
神戸市兵庫区旗塚通7-5 TEL 231-6300
アロード店 TEL 391-2538

和食くれない

神戸市生田区中山手通1-1-111
KCBビル2F TEL 331-0494

かっぱう

花くま
神戸市生田区花陽町45
TEL 341-0240

お茶漬・おむすび

悟味酉
神戸市生田区北長狭通1の20 TEL 331-3848
三宮さんちかタウン TEL 391-5319

お茶漬・おむすび

ふるさと里
神戸市生田区北長狭通2の1
TEL 331-5535

たこ焼たちばな

三宮センター街(旧柳筋) TEL 331-0572

和風料理 楽

神戸市生田区下山手通3丁目41
アロード西筋渓路交通に入る TEL 391-8649

料亭 大しま

兵庫区能内町6丁目39の6
TEL 221-1360-1945

寿司ミハラ

神戸市生田区元町通1丁目12
TEL 391-3155

★西洋料理

レストラン ティーパーラー

アボロン
神戸市兵庫区八幡通5丁目6
TEL 251-3231

レストラン

轟皮〈あらかわ〉
神戸市生田区中山手2-9
TEL 221-8547-231-3315

純フランス料理

エスカルゴ
神戸市生田区三宮町1-22
三宮センター街裏 TEL 331-5034

メンバーズクラブ

ルカ・カルトン
生田区北野町3-67-2
TEL 241-4321-4

ステーキハウス

れんが亭
神戸市生田区下山手通2丁目34
TEL 331-7168

レストラン

男爵

神戸市生田区中山手1-18
山手第一ビル1F TEL 241-0778

maison de la mode

花屋敷

三宮フラワーロード市役所前
TEL 251-2109

鉄板グリル

きやんどる

神戸市生田区北長狭通2-22
TEL 331-1183

レストラン

キングスアームス

神戸市兵庫区磯波通4-61
TEL 221-3774

グリル

ケーンズ

東店 生田東門筋 TEL 391-0159
西店 農業会館西下ル TEL 391-3212

レストラン

ムーンライト

三宮・生田新道
TEL 331-9554

洋風割烹

和蘭陀屋

三宮相互タクシー北入
TEL 321-0230

グリル・鉄板焼

月

神戸市生田区北長狭通1-24
生田神社前 TEL 331-2509

ピーフステーキルーム

則竹

トアロードミズキビル1F
TEL 331-9580

イタリア料理

ドンナロイヤ

神戸市生田区明石町32
明海ビル地階 TEL 331-7158

レストラン

ハイウェイ

神戸市生田区下山手2-20
TEL 331-7622

ピツツアハウス

ピノツキオ

神戸市生田区中山手2-101
TEL 331-3545

レストラン

ツク東店

神戸市生田区栄町1-5-3
TEL 321-3207

ティーラン

那寿

三宮トアロード
TEL 391-1873

レストラン

ミリオナークラブ

生田区山本通2丁目50の2
レストラン 231-9393-5
メンバーズ 221-1162

メキシコ小料理亭 テ
神戸市生田区山本通3丁目

★喫茶

フォーラン
ウエスタン

宮本の
コーヒー
中山手店、

センター街店、
modern Jazz さ
& Coffee 生田区北

高級茶房 ミ
club &

くらぶ 阿

club 飛

club S

エドワー

ホワイトローズビル5・6F
club 小

club さ

club ジ

club ル

club コー

洋酒肆 佛

イ フ ァ ー ナ

18回寺院前 TEL 331-1188

一 スト シ テ イ

神戸市生田区三宮町3丁目22
TEL 331-3770

し む ら 珈 琲 店

神戸市生田区中山手通1丁目70
TEL 221-1872-291-9524
神戸市生田区三宮町2丁目35
TEL 391-0669

り げ な く

長狭2-22 TEL 331-9762

ハ ラ

神戸市生田区元町通1丁目12
TEL 321-4735

BAR

以 子

神戸市生田区中山手2丁目89
TEL 331-6069

鳥

神戸市生田区中山手1丁目117
TEL 331-7627

〈工 ス〉

神戸市生田区下山手通2丁目6
TEL 331-2406-331-8993

ズ 俱 樂 部

神戸市生田区北長狭通1丁目28
生田新道 TEL 391-3300

万

市生田区東門筋中島ビル3F
TEL 391-0638-4386

ち

神戸市生田区中山手通2丁目75
TEL 331-7120

ヤ ル ダ ナ

神戸市生田区中山手通1丁目111
TEL 331-8589

イ ス

神戸市生田区下山手通2丁目29
ビル地下 TEL 391-5065

鈴

1丁目111 TEL 331-2403

蘭 西 屋

三宮生田新道相互クシー北入る
TEL 321-0230

e l u b な ぎ さ

神戸市生田区北長狭通2の1 TEL 331-8626

e l u b 薙 ふ き

神戸市生田区子山手通2丁目 TEL 391-1515

く う じ ぶ 一 げ ん

神戸市生田区中山手通1-1-111
TEL 331-8593

B A R Moon Light

BAR TEL 331-0886-391-2696
Club TEL 331-0157

ク ラ ブ る ふ ら ん

神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 331-2854

コ ー ベ イ ン ダ 斯 ト リ ア ル ク ラ ブ

(旧) 神戸実業俱楽部

神戸市生田区元町通1丁目12
TEL 391-3155

ク ラ ブ シ ャ ル ル

神戸市生田区北長狭通2丁目10
TEL 331-5769-5764

香港風サバーラブ 神 戸 フ ミ リ 一 俱 樂 部

神戸市生田区中山手通2丁目93 東洋ビル4F TEL 391-3051-3054

★ STAND & SNACK

ス タ ン ド 英 国 屋

生田区下山手通2-6 相互クシー横
TEL 331-1100-331-6600

ス ナ ッ ツ エ ル ソ タ ノ

神戸市生田区下山手通 TEL 331-6620

ス ナ ッ ツ ゃ ん ぐ す ぽ つ と

生田区下山手通4丁目4の5下山手マンション1F
TEL 391-5568

ス タ ン ド グ ラ ム 一 ル

生田筋岸ビル地階 TEL 331-4637

S N A C K M AT S U M O T O

神戸市生田区中山手通1丁目32/3
曾根ビル1F TEL 241-5470

night house リ チ ャ 一 ド

神戸市生田区山本通1丁目9
小寺マンション1F TEL 241-3041

ス タ ン ド さ り げ な く

生田筋上高地西入る TEL 331-3714

グ ラ ベ ン 小 屋 5 つ の 銅 貨

神戸市生田区北長狭通2-14
金剛山西入ル TEL 391-1438

ス ナ ッ ツ ピ ジ 一 ピ 一

神戸市生田区中山手2丁目
TEL 391-4582

居 酒 室 ボ ル ド 一

生田新道浜側中央KCビルB1F
TEL 331-3575

洋 酒 の 店

キ ャ ン テ イ
神戸市生田区北長狭通2丁目3
TEL 391-3060-391-3010

DRINK SNACK

ス ネ カ ジ リ っ 子
神戸市生田区下山手通2丁目
水晃ビルB1 TEL 391-8798

Stand&Snack ティー&ドリンク

素 舌 涼

サ ント ノ ー レ
生田区下山手通2丁目トア・ロード
TEL 391-3822

S T A N D

ア ト ラ ス
生田区中山手通1丁目95
TEL 331-5433

S T A N D

F A N F A N
神戸市生田区下山手通2丁目29
TEL 391-1410

ス ナ ッ ツ

G A S T R O
神戸市生田区中山手通3-20
トーアマンション TEL 231-0723

ス タ ン ド

ク ラ ブ ・ ガ ー デ ニ ア
神戸市生田区中山手通1丁目115
東門筋中島ビル2F TEL 391-3329

S N A C K

山 の 手
神戸市生田区中山手通1丁目
ソネビル1F TEL 221-3637

津 子 の 店

姿 (SARA) 罗
生田区中山手1丁目91
TEL 391-1647

ス ナ ッ ツ

ダ ン テ イ
神戸市生田区・農業会新西浜上ル
天野ビル2F TEL 391-6450

S N A C K B A R

マ ゼ ラ ン
神戸市生田区加納町4丁目1
TEL 391-2366

s n a c k

M O R E M O R E
神戸市生田区中山手通1丁目107
TEL 391-4162

ス ナ ッ ツ

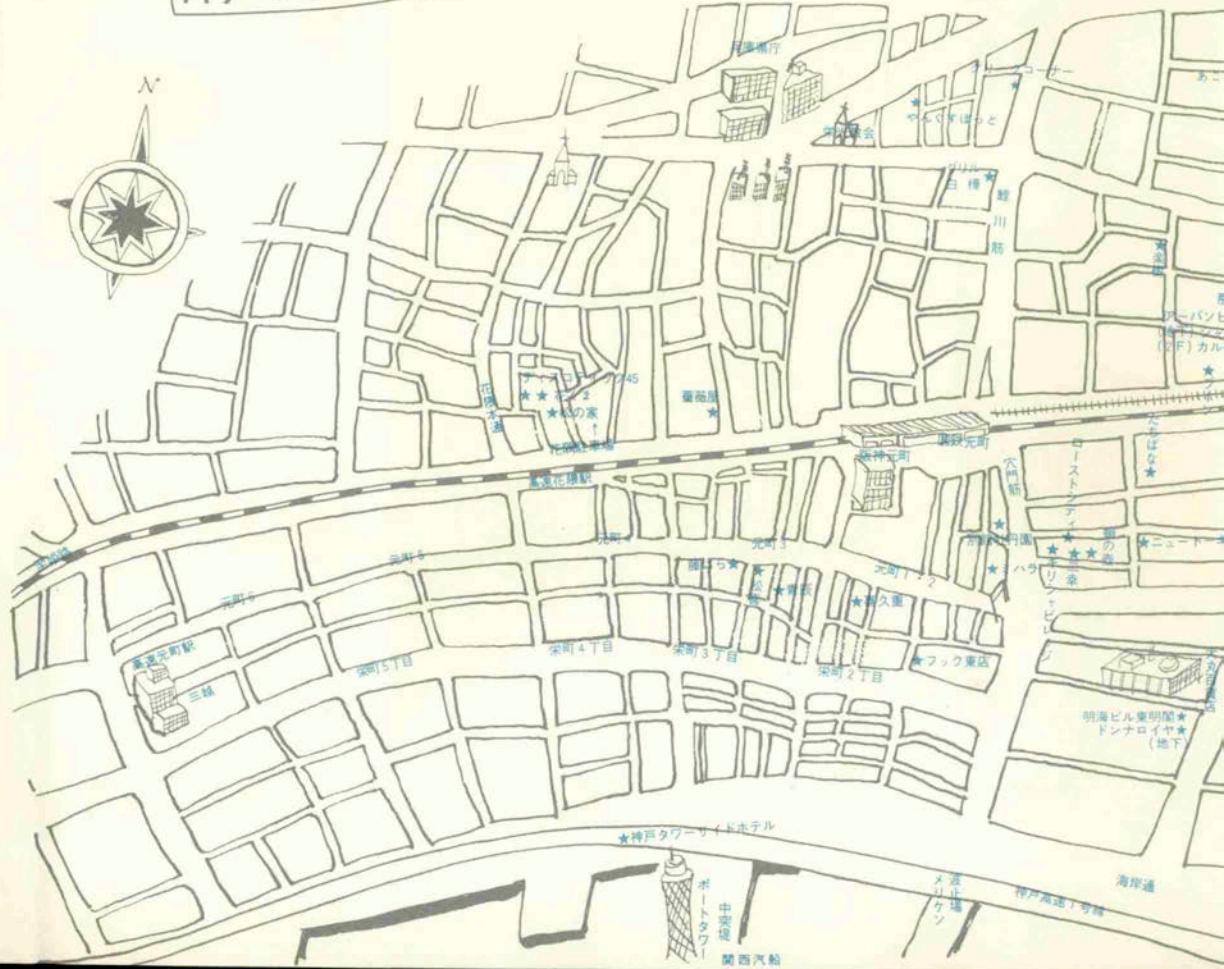
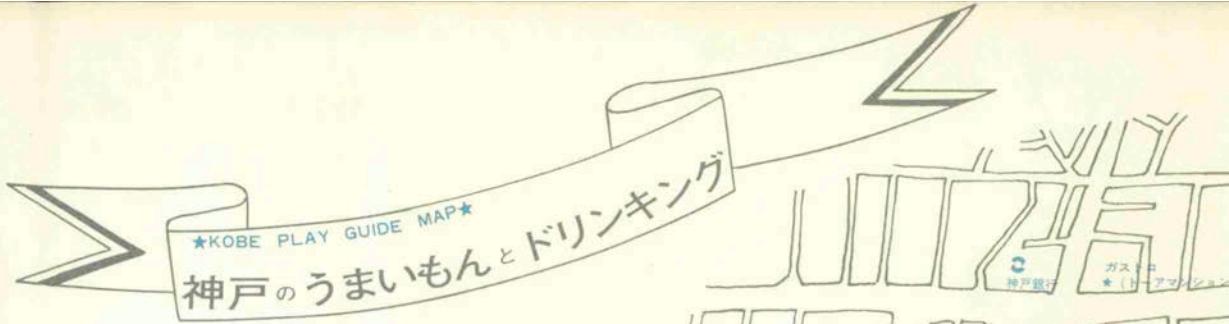
山 莊
神戸市生田区北長狭通1丁目22
TEL 391-5823

ス ナ ッ ツ

シ ャ ン テ イ
神戸・加納町3丁目布引ビル地下
TEL 231-5202

SNACK & DRINK

ガ ス ラ イ ト
神戸市生田区加納町1丁目番地61
TEL 241-7724





baLCon

antique series

III 麦酒ジョッキ

●コレクター

新谷秀雄

〈彫刻家〉



ヨーロッパの裏街や片田舎で見つけたいろんなジョッキは、とても味わい深く、ビールの蒸発をふせぐフタの面白さや、形、色、また時代を見ていると大変愛着を感じます。

デンマークで買ったガラスジョッキ、イタリヤナボリの金の馬のジョッキ、ばらの七宝焼がフタにあるリュッセルドルフのジョッキ、ライン川上流のコブレンツの旗のジョッキ、ニュールンブルグのオルゴール入りジョッキ(西ドイツ)など風格があって好きですね。

英國風喫茶・レストラン



バロシ

神戸三宮サンプラザ地下 TEL (391)1758
A.M.10:00~P.M. 9:00迄



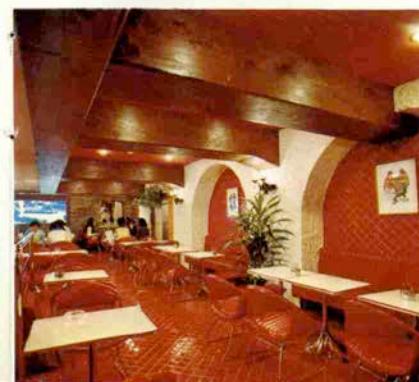
◀ 2 F / ロイヤルラウンジ

高級喫茶としてのイメージを、格調高い欧風調のおちついたムードでまとめてある。構造上、外部に面する窓が少ないため、一部にガーデン風のスペースを設けインテリヤからエクステリヤへと広がりをもたせている。



◀ 1 F / ファミリーラウンジ

天井のクリスタルシャンデリアで充分な照度をとり、壁面は、レザーペーパーの明るいホワイトカラー。だれにでも親しめる。



◀ 1 F / ヤングラウンジ

梁型—松 壁—ブラスターーラフコート、レンガ 床—マロンタイル赤全体に粘っこく、アンチックなデコレートではあるが、材質は單一のもので適所につかわれている。



U.C.C. 上島コーヒーショップ 京都 延400m²

U.C.C. メルカード

総合インテリア
株式 神戸日建
会社
建築設計施工 店舗改造
神戸市葺合区御幸通3丁目1
PHONE 251-3525 (代)

●KOBE BEEFと洋酒が楽しめる snack MATSUMOTO



MATSUMOTO
SNACK



神戸市生田区中山手通1丁目32-3 <曾根ビル1階> tel (078)241-5470
P.M. 5:00~A.M. 2:00



スナック ネイニ 生田新道農業会館向い
ラテンセンタービル 4F
TEL. 321-3370



葺合区加納町 3 丁目
布引ビル地下
TEL. 231-5202

KOBE DRINKING GUIDE



DRINK & SNACK
スネカジリョ3

生田区中山手通 2 丁目 13
永晃ビル地下
TEL. 391-8708



ドリンク・レストラン テントウヤ
點燈屋

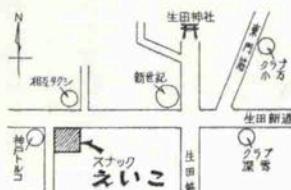
生田区中山手通 1 丁目
レインボービル地下
TEL. 331-0393



★生田新道の農業会館向い、ラテンセンタービルの4Fにあるのがこのスナック“えいこ”。こじんまりとしたスペースに落着いた雰囲気、そして何よりも、飲む人をリラックスさせるママさんとマスターの親しみやすい人柄が魅力。それにかわいい女の子が3人、陽気なおしゃべりに花を咲かせてくれる。オープンして1年半になるが固定ファンも増え、「気楽に飲んで食べてもらうのがこの店のモットーです」とママのおしゃる通り、広いカウンターをはさんで気軽に飲みあい、話合える店、と定評がある。会社の帰りに同僚と、あるいは恋人同士でリラックスしたひとときを“えいこ”でおすごし下さい。

ビール¥200、小鉢¥300、水割(オールド)¥400

P.M. 5:00～A.M. 12:00 年中無休です。



★海の碧さと山の緑が陽光にまぶしく輝く7月。

ここ、農業会館向い、氷晃ビル地下の“スネカジリッ子”には夕暮れと共に元気のいい若者が次々と駆けこんでくる。

ダーク調の落着いたインテリアとこじんまりとしたスペース、そして何よりも若やいだフレッシュな雰囲気がぐっと魅力。若い素人のバーテンさんたちのきびきびとした動作や気の利いた会話、そしてお客様への細かい心づかい、そんなところに、若い人からご年配の方までこのお店が幅広い人気をもつ秘密があるのかもしれない。こじんまりとしたボックス席もあるのでグループでもどうぞ。

水割(G&G)¥300、ビール(小)¥250、おつまみ¥100

ピッタア¥350、ミニチュアピン(W)¥500

P.M. 5:00～A.M. 1:00 第1、第3月曜日休み。

KOBE DRINKING GUIDE

スネカジリッ子

シャンティ

テントウヤ

加納町3丁目の布引ビル地階にある“シャンティ”は、レンガ造りにランプがともる扉を押すと、山小屋風の落ちついインテリヤの店内から、エレクトーンが流れてくる。といったシックなつくりから静かな店かといえばそうでもなく、唄をエレクトーンで歌わせてくれるし、調子にのってワイワイ楽しめる店であるところが魅力。

ハンサムぞろいのシャンティは、午後6時から深夜まで、ちょっとした神戸の夜の穴場。

たべものはからあげ500円、サラダ400円、のみものは水割りが、ホワイトラベル500円、ビール300円というおねだん。



★中山手1丁目、レインボービル地下の“點燈屋”は皆様おなじみのレストラン・スナック“スネカジリッ子”的姉妹店。目のさめるような黄色い壁に囲まれた階段をトン、トン、トンと降り、扉を開くとダーク調の豪華なインテリアがひろがる。広々としたスペースと落着いたムードの中にスネカジリッ子同様の親しみやすい雰囲気があふれでおり、若い人も、アベックも、年配の方もみんないっしょに楽しく飲める店ともっぱらの評判。お酒の他におむすびからビーフステーキまで各種の食事も楽しめるのでお気軽に利用できる。

水割¥400、フィズも¥400より、ビール¥300

ハムエッグ¥400、オムレツ¥400、ハムバーグステーキ¥500

P.M. 6:00～A.M. 2:00 第1、第3日曜日休み。